

# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和 2年 6月25日	作成者名	中川 幸子	評価者名	久川 理恵
-----	-------------	------	-------	------	-------

## 1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	02 誰もが健康でいきいきと生活できるまち	中心となる課	福祉部・福祉保健センター
分野	02 健康づくり	関係課	こども青少年部・こども家庭課
施策	16 健康づくり支援の充実		
施策の目的	市民が健康で、生きがいを持ちながら、自立して活動的に暮らせるようにします。 また、子どもたちが心身共に健やかに成長するために、必要な育児支援を行います。		

## 2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	感染症対策事業
取り組み②	がん検診事業
取り組み③	健康教育事業
取り組み④	親子保健事業
取り組み⑤	妊婦健康診査事業
その他の取り組み	
その他の取り組み	

## 3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
がん検診受診人数	胃・肺・大腸・子宮・乳がん検診 (5つのがん検診受診人数)	人	32,000	28,960	30,366	28,702	29,191	27,758	
こころの健康教育事業参加者数	講演会、講座の参加者数	人	100	70	208	129	151	40	
こんには赤ちゃん訪問実施率	生後4か月までの乳児家庭訪問率 (訪問件数÷対象者総数×100)	%	95	90.6	94.5	97.3	95.5	89.7	
健康づくり事業参加者数	60歳未満の事業参加者数 (ポイント事業・講座・骨量測定)	人	390	260	323	281	326	476	
その他施策の取組事項に係る成果									

## 4. 施策の展開 <ACTION>

課題	1 健康増進計画に基づき、健康寿命の延伸を目指して様々な取り組みを行っているが、埼玉県算出の健康寿命（65歳に達した市民が要介護2以上になるまでの期間）は男女ともに県内下位である。	対応策	1 効果的なインセンティブの導入やICT利用の促進等、工夫を重ね、健康づくり事業を進める。また、ソフト、ハード両面から健康づくりに取り組むため、インフラ整備の所管部署も含まれる健康なまちづくり庁内会議の活用を図る。
	2 複雑な問題を抱えた困難事例が増加している。また、緊急対応が必要な場面が増加している。子育て支援については、児童福祉の部署も取組強化を図っており、連携が一層必要になってくる。		2 庁内外の関係部署・機関との連携を強化し、子供から成人まで、適切な支援を行う。子育て支援については、子育て世代包括支援センターの機能を強化し、「子ども家庭総合支援拠点」との連携を密に図る。

## ○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	令和元年度は、2月以降、新型コロナウイルス感染症の流行により、事業が中止や延期となった影響で、目標達成できなかった指標がある。事業実施時期が影響を受けなかった指標は目標を達成している。影響を受けた時期が短かったため、概ね予定通りの進捗である。今後は、感染症流行時の対応策も検討しておく必要がある。
<b>B</b>		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	子育て世代包括支援センター（福祉保健センター）の機能強化のため、1人分の予算増の予定であるが、全体としては、維持である。
<b>→</b>		

## (評価者コメント)

健康寿命の延伸を目指し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層の市民を対象に事業を実施し、施策の進捗は概ね予定通りであるが、課題である健康寿命の延伸はなかなか難しい。引き続き、健康無関心層への効果的な取組を工夫していく。子育て世代包括支援センター（福祉保健センター）は、母子健康手帳の交付時の妊婦面接を100%し、母子保健コーディネーターを増員することで機能の充実を図ると共に、子ども家庭総合支援拠点との効果的な連携により、適切な支援を行いたい。
---



# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和 2年 6月25日	作成者名	中川 幸子	評価者名	久川 理恵
-----	-------------	------	-------	------	-------

## 5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果							★事務事業の方向性			R 3 予 算 額	事業費  うち 一般財源		
		事業コード	事業内容	事業区分	R1決算額	事業の方向性	実施計画候補	評価結果				事業の方向性	実施計画候補			施策内優先度	コメント
					R2予算額			施策への貢献度	経費水準	事業手法	受益・負担の公平性						
					R3計画額												
02	01   04   01   06   01   02	妊婦健康診査事業	義務	124,785	1	○	B	B	B	B	1	○	義		136,505		
				150,834													
				136,505													
	01   04   01   06   01   03	妊婦健康診査に関わる事務。健診内容の検討、委託医療機	義務	136,505	1		A	A	A	A	1		義		136,505		
				1,712													
				9,670													
	01   04   01   06   01   03	乳幼児健診事業	義務	9,670	1		A	A	A	A	1		義		11,759		
				9,001													
				11,759													
	01   04   01   06   01   04	①4か月児健診 ②1歳児健診 ③1歳8か月児健診(法)	任意	29,748	2	○	A	B	B	B	2	○	A	子育て世代包括支援センターの機能強化を図るので拡大。予算は親子保健事業に計上。	38,510		
				39,152													
				38,573													
01   04   01   06   01   04	①子育て世代包括支援センター ②妊婦保健指導	任意	20,748	2	○	A	B	B	B	2	○	A	子育て世代包括支援センターの機能強化を図るので拡大。予算は親子保健事業に計上。	21,360			
			20,065														
			20,065														
計 (千円)				事業費	765,359	991,507	913,167	913,094									
				うち一般財源	716,523	925,622	848,676	864,303									

事業の方向性： 1 現状で継続    2 拡大して継続    3 縮小して継続    4 他事業と統合    5 休止    6 その他見直し  
7 令和3年度で終了    8 令和2年度で終了    9 令和元年度で終了